

掛川市立城北小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成29年4月20日（木）

4月20日（木）に、掛川市立城北小学校で古代体験の出前授業を行いました。

火起こし体験、土器の分類体験、黒曜石の試し切り体験に取り組みました。それぞれの体験を通して、昔の人々の暮らしや歴史に関心を持ち、その苦勞に触れることができました。今回の体験が、今後の学習に生かされることを願っています。

当日は、市の広報紙や新聞の取材もありました。

◎土器分類体験



縄文土器、弥生土器、須恵器（すえき）の実物の破片を見ながら、それぞれの説明を受けました。そして、それぞれの特徴を観察しみんなで相談をして分類してみました。それぞれの特徴を観察して、正しく分けるのは大変でした。本物の土器にさわった感想はどうだったのでしょうか？

◎黒曜石試し切体験



本物の石器に触れてみました。黒曜石は、身近なところには無く遠くから運んでこなければなりません。なんと長野や伊豆諸島からも運ばれたものもあるとの説明に驚きました。また、実際に黒曜石を使って野菜くずや紙を切ると驚くほどよく切れました。

◎火起こし体験



火を起こすことは大変でした。しかし、火を使うことで、煮たり焼いたりしておいしく食べ、明るく・暖かく生活することができるようになりました。その火を手に入れるのにはとても苦勞することを身をもって体験し、火の大切さを実感できました。